

道の駅「たからだの里さいた」と香川大学との連携

道の駅「たからだの里さいた」と香川大学（「地域インターンシップ」全学共通科目）の学生が連携して、新しいイベントの企画提案を行います。

①課題：新しいイベントの企画・実施

- 現在の定例イベントに加え、新規顧客獲得のため、ファミリー層もしくは若年層にアピールできる新しいイベントを企画・実施する。



②課題の変更：子供たちへのアンケートと次のイベントの企画

<理由>

- ・当初、道の駅にある周辺施設を使った、子供を中心とした宝探しイベントを企画。
- ・しかし、子供たちの安全確保のため、スタッフの数が不足し、実施が困難なことが判明。



- ・子供たちはどのようなことに興味があり、どんなことをしたら楽しめるのか、子供たち目線の意見を調査するために子供たちに向けたアンケートの実施。

【道の駅の問題点の探求】

物産館・温泉・宿泊施設など施設が充実し、一見困ったように見えない道の駅の問題を明らかにし、働いている方から現状を聞き取り、今回の取り組みに反映します。



【香川大学による地域インターンシップの目的】

香川大学では、低年次で地域に出向き、地域づくりの現場・しごとを理解し、地域課題解決への参画を通じて、①社会貢献、②課題探求・解決力の修得、③能動的学修を目指している。

インターンシップ報告会



【道の駅「たからだの里さいた」について】

道の駅「たからだの里さいた」は、新鮮な野菜と果物が毎日出荷される産直市を開催。温泉・宿泊施設も備え、四国霊場のお遍路が立ち寄る場所となっている。

地域特産の新鮮な野菜



香川大学 KAGAWA UNIVERSITY 文部科学省 地(知)の拠点

香川大学(所在地:香川県高松市)は、6学部、8研究科を擁した総合大学として、個性と競争力を高めるために「地域に根差した学生中心の大学」をめざしています。また、地域貢献では、文部科学省の大学改革推進事業のひとつ、「地(知)の拠点整備事業(COC事業)」において、平成25年度に採択され、全学的に県内自治体が連携し、離島振興や街の活性化、定住促進対策などの地域活性化に取り組んでいます。「地域インターンシップ」もCOC事業において新設された科目です。

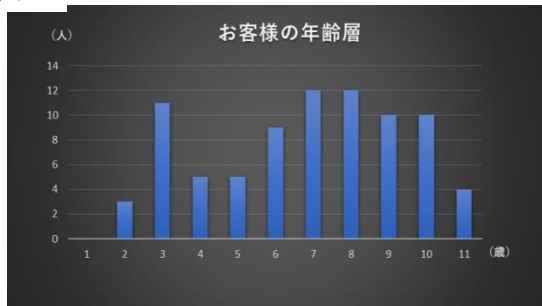
道の駅「たからだの里さいた」と香川大学との連携

平成29年度 取組み内容：子供たちへのアンケートと次のイベントの企画

アンケート結果

○アンケート実施日 7月9日、8月5日の2日間(現地にて)

・表 1



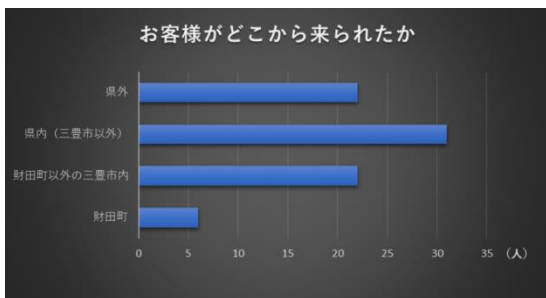
〈計81名の子供たち〉

・表 2



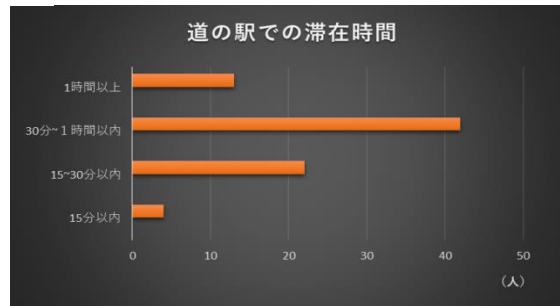
〈男の子36名、女の子45名〉

・表 3



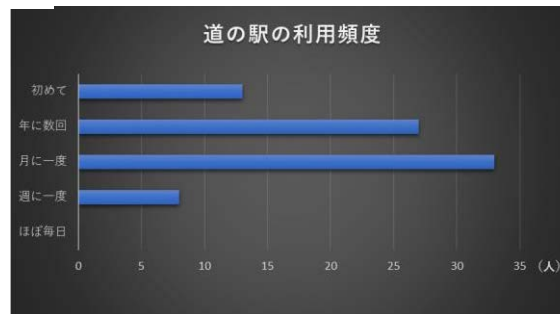
〈三豊市伊以外の県内が31名〉

・表 4



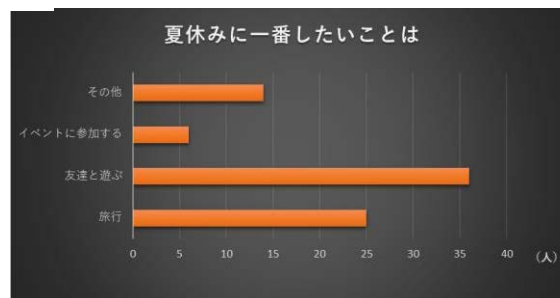
〈30分~1hの滞在時間が1番多い〉

・表 5



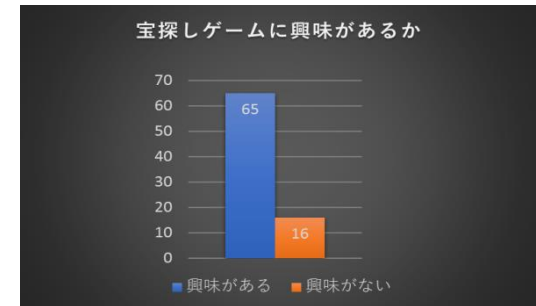
〈月に1度の利用頻度が33名と1番多い〉

・表 6

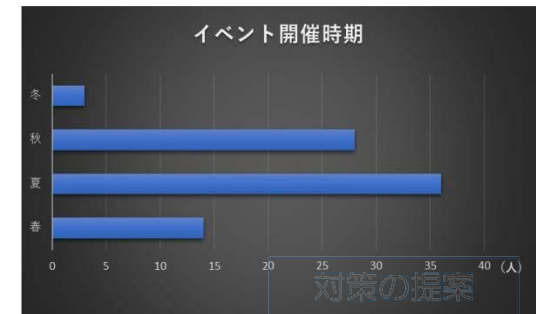


〈友達と遊ぶ目的が36名と1番多い〉

・表 7



・表 8 〈宝探しに興味ありが65名と多い〉



〈開催時期は夏が36名と1番多い〉

分析

- ・多くの人滞滞在時間30分以上のため、保護者の買い物の間にイベント実施が可能。
- ・利用頻度が多いことから、恒例イベントを増やせば再来客を見込める。
- ・友達と一緒に参加できるようなイベントを開催すれば、より多くの子供たちが集まる。
- ・夏や秋など比較的暑い時期の希望者が多いため、熱中症対策が必要。 など